

分野1 子ども・子育て支援

基本政策1

安心して子育てができる

安心して子どもを産み、育てることができ、すべての子どもが健やかに成長する“まち”を目指します。

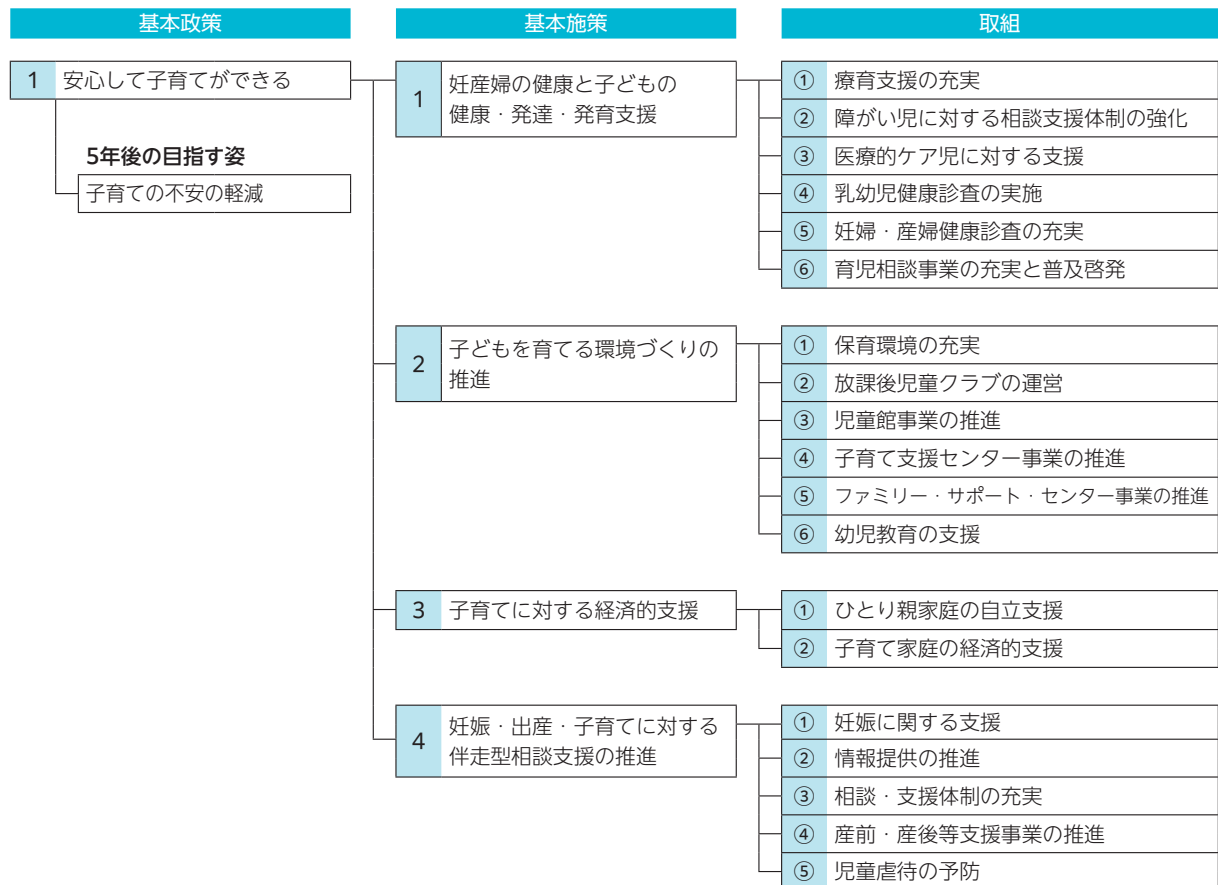
5年後の目指す姿

【子育ての不安の軽減】

地域全体の理解と協力を得ながら、子育て世代を支えるための支援体制を構築し、子育ての不安を軽減します。

数値目標	現状値	目標値
子育てに関する悩みや心配ごとについて「特に悩みはない」と回答した割合 [富士見市こども計画策定に関するアンケート調査]	19.5%(R6)	23.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

1-1 妊産婦の健康と子どもの健康・発達・発育支援

健診・相談等を通して、妊婦、産婦、乳幼児の健康状態、発達・発育の状態の把握に努めます。また、課題に応じた一般的な支援から、療育、障がいや児童虐待など専門的な支援までを、関係機関と連携することで、継続的な支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※小学校入学前の子どもがいる方で抽出[市民意識調査]	62.8%(R6)	66.5%(R12)

【主な取組】 乳幼児健康診査の実施

4ヶ月児、12ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児の各健診において、年齢に応じた発育・発達の課題の確認や相談を実施します。また、健診後のフォローや未受診児への訪問により、健診対象のすべての子どもの把握と保護者を含めた支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
乳幼児健診の実施	実施(R6)	➔ 継続(R12)

1-2 子どもを育てる環境づくりの推進

保育施設や放課後児童クラブ等の整備のほか、子育てに関する情報提供やファミリー・サポート・センター⁷など市民の力を活かした支援等により、子どもを育てる環境づくりを総合的に推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	保育サービスなどの充実に対する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出[市民意識調査]	57.7%(R6)	62.7%(R12)

【主な取組】 保育環境の充実

待機児童の早期解消及び待機児童ゼロの継続を目指し、保育施設の整備等に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
保育所等待機児童数	15人(R7)	➔ 待機児童0人の早期達成及びその継続

⁷ 子育ての手助けをしたい人(提供会員)と、手助けをして欲しい人(依頼会員)が会員になって、地域で子育てを助け合っていくシステム



1-3 子育てに対する経済的支援

医療費の助成や手当の支給等により、子育て家庭への経済的な負担の軽減を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子どもがいる方で抽出[市民意識調査]	69.4%(R6)	74.4%(R12)

【主な取組】 ひとり親家庭の自立支援

経済的な援助のほか、就労のための支援などを合わせて推進することで、ひとり親家庭の安定した自立への支援に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
児童扶養手当の受給資格者のうち、 本人の所得が所得制限額以上の人の割合	12.1%(R6)	⇒ 13.3%(R12)

1-4 妊娠・出産・子育てに対する伴走型相談支援の推進

妊娠・出産から子育て期に至るまで、切れ目のない支援体制を実現するため、確立したワンストップ相談窓口を活かし、伴走型相談支援⁸を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「子育て(教育を含む)をするうえで、相談できる人(場所)はいますか。」の設問に「いる/ある」と回答した人の割合 [子育て支援に関するアンケート調査]	94.8%(R6)	97.0%(R12)

【主な取組】 相談・支援体制の充実

妊娠・出産・子育てに関する支援のため、保健師などの専門職員を配置し、必要な支援に気づき、関係機関や地域との連携を図りながら、適切な相談・支援を行います。

【KSF】	現状値	目標値
子ども未来応援センターが関わったケース会議 ⁹ の回数	104回(R6)	⇒ 110回(R12)

8 妊娠・出産から子育て期に至るまで、切れ目なく相談に応じ、ニーズに即した必要な支援につなぐこと

9 支援を必要としている子どもの事例に対し、支援方針と役割分担を決定するための会議

関連するSDGsゴール



すべての子どもが、夢に向かってチャレンジできるよう支援を行い、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。 関連ターゲット¹⁰(1-2)



妊娠、出産から子育て期に至るまで、安心して子育てができる環境を整えます。 関連ターゲット(11-1)

関連計画等

富士見市こども計画(令和7年度～令和11年度)

第6期富士見市障がい者支援計画(令和6年度～令和8年度)

第2期富士見市健康推進計画(令和8年度～令和17年度)

関連部署

子ども未来部 子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、みずほ学園

健康福祉部 障がい福祉課

教育部 教育相談室

10 関連ターゲットの詳細については、環境省ホームページ(<https://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>)をご参照ください。

分野2 子ども・若者支援

基本政策2

夢に向かってチャレンジできる

子どもや若者が安心して暮らすことができ、夢や目標に向かってチャレンジできる“まち”を目指します。

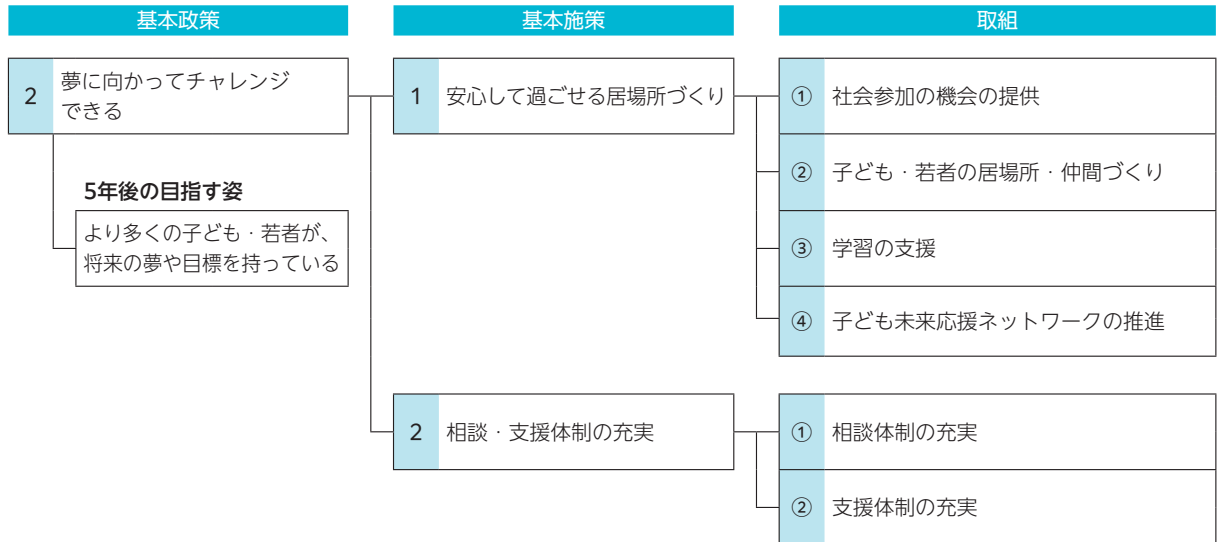
5年後の目指す姿

「より多くの子ども・若者が、将来の夢や目標を持っている」

より多くの子どもや若者が、安心して過ごせる居場所があり、学業や就労などに対する不安や悩みを、相談や就労体験等によって解消しながら、将来の夢や目標を持っている状態を目指します。

数値目標	現状値	目標値
将来や進路のことについて、悩んだり、困ったりしていると答えた若者の割合 [富士見市子ども計画策定に関するアンケート調査]	44.6%(R6)	40.0%以下(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

2-1 安心して過ごせる居場所づくり

社会参加に向けた居場所づくり・仲間づくりのための活動等の支援など、安心して過ごせる居場所づくりへの支援を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)について、「居場所が複数ある」と答えた児童生徒の割合 [富士見市子ども計画策定に関するアンケート調査]	94.7%(R6)	98.0%(R12)

【主な取組】 子ども・若者の居場所・仲間づくり

身近に利用できる子ども食堂や若者の居場所活動などに取り組む団体を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
子どもの居場所数 (子ども食堂、学習支援教室、プレイパーク、若者支援の居場所数の合計)	24か所(R6)	➔ 30か所(R12)

2-2 相談・支援体制の充実

子ども・若者の不安や悩みなどをサポートするため、地域子育て相談機関の設置や支援のためのネットワーク強化など相談・支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	継続して相談・支援を行い、課題解決につながった割合 [所管課調べ]	33.7%(R6)	40.0%(R12)

【主な取組】 相談体制の充実

相談しやすい環境づくりのため、身近な相談機関である地域子育て相談機関を設置します。

【KSF】	現状値	目標値
地域子育て相談機関の設置数	3か所(R6)	➔ 6か所(R12)



関連するSDGsゴール



生活困難な子ども・若者に気づき、適切な支援へ繋げ、貧困の連鎖を断ち切るための取組を推進します。

関連ターゲット(1-2)



すべての子ども・若者が、自らの希望に応じて学習の機会を平等に得られるための支援を行います。

関連ターゲット(4-6、4-7)

関連計画等

富士見市こども計画(令和7年度～令和11年度)

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

関連部署

子ども未来部 子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター

健康福祉部 福祉政策課

教育部 生涯学習課、学校教育課、教育相談室



スポーツ体験会「走り方教室」



スポーツ体験会「バドテニス」

分野3 学校教育

基本政策3

児童生徒一人ひとりが輝く

「確かな学力・豊かな心・健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に努め、子どもたち一人ひとりを認め、励まし、褒める教育を行うことにより、児童生徒の夢と希望が育まれる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

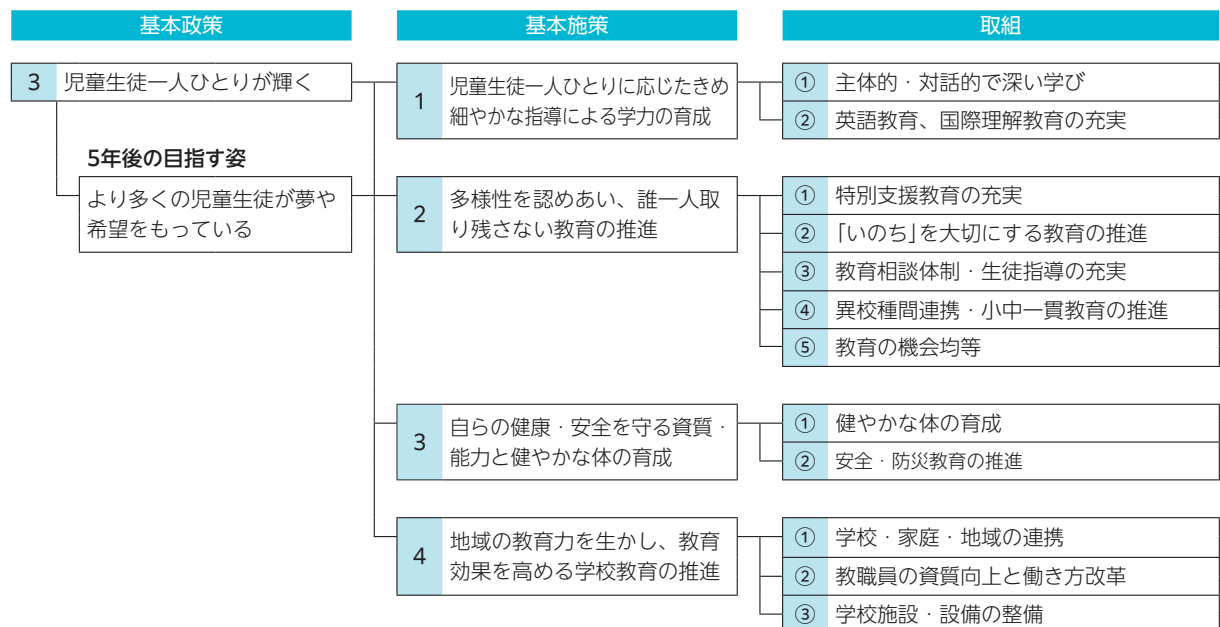
「より多くの児童生徒が夢や希望を持っている」

児童生徒が、楽しく学び、考え、自らの力で問題を解決したり、新たな課題を創り出したりするなど、主体的に物事に関わり、夢や希望を持っている状態を目指します。

数値目標	現状値	目標値
「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合 [全国学力・学習状況調査]	小6 81.5% (R6) 中3 64.9%	小6 85.0% (R12) 中3 70.0%

※上記「小」とは小学生を表し、「中」とは中学生を表しています。以下この分野において同じ。

【ロジックモデル】



基本施策

3-1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成

児童生徒にとって「主体的・対話的で深い学び」となる授業実践や一人一台端末の効果的な活用等を通して、確かな学力を育成します。

	指標	現状値	目標値
KPI	県平均との比較で県より上回っている項目数 ¹¹ [県学力・学習状況調査 小4~6、中1~3各教科の結果]	小 20/66 (R6)	小 33/66 (R12)
		中 18/48	中 24/48

【主な取組】 主体的・対話的で深い学び

児童生徒が、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、STEM教育¹²等を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」に肯定的に回答した割合[全国学力・学習状況調査]	小 84.6% (R6) 中 87.8%	小 90.0% (R12) 中 90.0%

3-2 多様性を認めあい、誰一人取り残さない教育の推進

児童生徒の多様性を尊重し、特別支援教育や教育相談、いのちを大切にしている教育などを通して、自尊感情を高め、相手を思いやる心を育み、誰一人取り残さない教育を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「学校に行くのが楽しい」と回答した割合 [全国学力・学習状況調査]	小 82.8% (R6)	小 90.0% (R12)
		中 84.6%	中 90.0%

【主な取組】 「いのち」を大切にしている教育の推進

助産師による「いのち」をテーマにした「いのちの授業」を核に、義務教育9年間を通して学びを積み上げ、自尊感情を高めます。

【KSF】	現状値	目標値
「自分にはよいところがあると思う」に「思う」 「どちらかといえば思う」と回答した割合 [全国学力・学習状況調査]	小6 82.7% (R6) 中3 81.2%	小6 85.0% (R12) 中3 85.0%

11 小学校:国語、算数の2教科を学年(3学年:4,5,6年生)、学校(11校)別に算出

中学校:国語、数学、英語(2,3年生のみ)の3教科を学年(3学年)、学校(6校)別に算出

12 STEMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字であり、これらを統合的に学び、ロボットやIT技術に触れて「自分で学ぶ力」を養う教育方法

3-3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成

児童生徒が健康・安全について実践的・科学的に理解し、生涯にわたって運動に親しむことができる健やかな体を育成します。

	指標	現状値	目標値
KPI	新体力テスト ¹³ の評価(A+B+C)の児童生徒割合の県平均との比較 [新体力テスト]	小 -4.1ポイント (R6) 中 -0.2ポイント	小 +1ポイント (R12) 中 +3ポイント

【主な取組】 健やかな体の育成

運動に親しむ資質・能力の育成を図り、運動好きな児童生徒を育てる体育授業を推進します。

	【KSF】	現状値	目標値
	「体育の授業は楽しい」と回答した割合の県平均との比較 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	小 男子-8.4ポイント 女子+3.4ポイント (R6) 中 男子-3.4ポイント 女子+1.6ポイント	小 男子+1ポイント 女子+4ポイント (R12) 中 男子+1ポイント 女子+3ポイント

3-4 地域の教育力を生かし、教育効果を高める学校教育の推進

児童生徒が安心して通うことができ、保護者・地域から信頼される学校教育を推進するとともに、安全で快適な教育環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「コミュニティ・スクール ¹⁴ や地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」に「当てはまる」と回答した学校数 [全国学力・学習状況調査]	小 5/11校 (R6) 中 1/6校	小 11/11校 (R12) 中 6/6校

【主な取組】 学校・家庭・地域の連携

学校応援団の活用、防犯見守りなどを通して地域からの意見を取り入れ、教職員が地域とともにある学校を意識し、開かれた学校づくりを推進します。

	【KSF】	現状値	目標値
	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した学校数 (全国学力・学習状況調査)	小 79.3% (R6) 中 75.9%	小 85.0% (R12) 中 80.0%

13 国民の体力・運動能力の現状を把握するため、文部科学省が実施する運動能力調査。各調査項目を点数化し、合計点数によりA~Eの5段階で評価とするもの

14 地域住民等が学校運営に参画する制度で、保護者や地域の代表などで構成される「学校運営協議会」を設置し、地域と連携した教育の推進を図る仕組みのこと



関連するSDGsゴール



児童生徒一人ひとりが適切な教育機会に恵まれる教育を推進します。

関連ターゲット(1-2)



児童生徒一人ひとりの個性を肯定的に受け止め、自尊感情を高める教育を推進します。

関連ターゲット(4-5、4-7、4-a)



自分や他者を大切にする感情を育むために、「いのちの授業」を核に、道徳教育、人権教育などを推進します。

関連ターゲット(5-5、5-c)

関連計画等

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

富士見市こども計画(令和7年度～令和11年度)

関連部署

協働推進部 協働推進課、人権・市民相談課

子ども未来部 子育て支援課

建設部 道路治水課

教育部 教育政策課、学校教育課、教育相談室、学校給食センター



イングリッシュサマーキャンプ



分野4 地域福祉

基本政策4

住み慣れた地域での安心した心地よい暮らしの実現

市民が、生活の拠点である住み慣れた地域に根ざし、ともに支え合いながら、安心・充実した生活を送ることで、心地よい暮らしが実現できる“まち”を目指します。

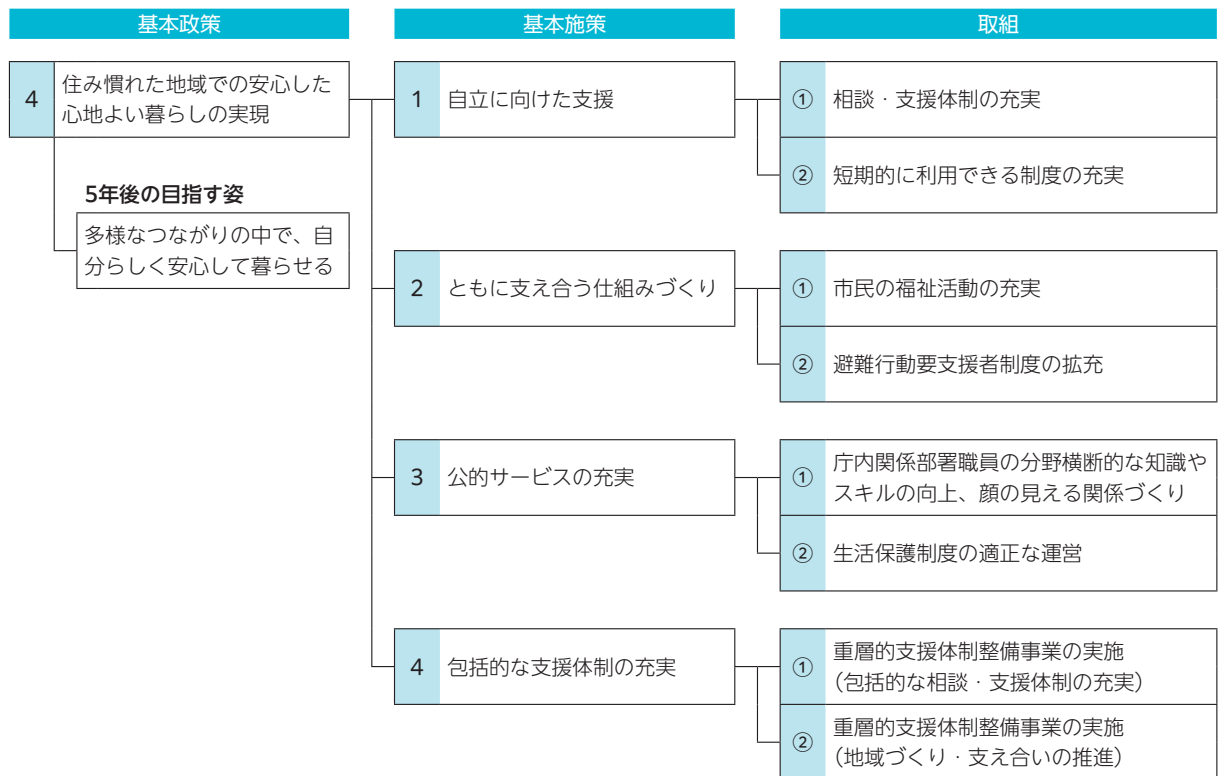
5年後の目指す姿

「多様なつながりの中で、自分らしく安心して暮らせる」

市民一人ひとりや福祉関係機関等が協力・連携して、お互いに支え合いながら安心・安全に生活できる住みよい“まち”を目指します。

数値目標	現状値	目標値
市の福祉施策(福祉のまちづくり)に関する満足度 [市民意識調査]	57.6%(R6)	65.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

4-1 自立に向けた支援

市民一人ひとりが、安心した生活を送ることができるよう支援し、自立できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	支援機関のサポートにより自立に向けた改善が見られた者の割合 [所管課調べ]	24.2%(R6)	40.0%(R12)

【主な取組】 相談・支援体制の充実

生活サポートセンター☆ふじみ¹⁵にて行われている、生活困窮者やその家族等への相談・支援体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
生活サポートセンター☆ふじみでのプラン作成件数	64件/年(R6)	➔ 80件/年(R12)

4-2 とともに支え合う仕組みづくり

市民一人ひとりや福祉関係機関等が協力・連携してともに支え合う仕組みづくりを進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域活動に参加している人の割合 [市民意識調査]	52.6%(R6)	61.0%(R12)

【主な取組】 避難行動要支援者制度の拡充

災害時に自力で避難することが困難な方が、地域での支え合いにより避難できるよう、制度の拡充に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
個別避難計画 ¹⁶ の新規作成件数	11件(R6)	➔ 15件(R12)

15 仕事や生活費などでお困りの方に対して、専門のスタッフが相談に応じ自立に向けた支援を行う機関

16 災害時に自力で避難することが難しい人のために、避難の方法や支援する人などをあらかじめ決めておく計画

4-3 公的サービスの充実

自らの力や地域での支え合いだけでは解決できない生活課題に対し、支援機関の連携により、どの相談窓口からでも適切な支援につながるができるよう、包括的な相談支援体制を構築することで、公的サービスを充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	支援機関等と重層的支援担当の連携数 [所管課調べ]	44件(R6)	74件(R12)

【主な取組】 庁内関係部署職員の分野横断的な知識やスキルの向上、顔の見える関係づくり
市民の困りごとに対し、担当外の分野であっても相談を受け止め、課題を整理し、適切な支援機関につなげられるよう、特定の制度や分野にとどまらず、福祉全般に関する幅広い知識と調整力を持ち、複合的な課題に柔軟に対応できる職員を育成します。

【KSF】	現状値	目標値
福祉連携推進セミナーの開催回数	4回/年(R6)	➔ 6回/年(R12)

4-4 包括的な支援体制の充実

市民の複雑化・複合化した支援ニーズや制度の狭間の問題に対応するため、重層的支援体制整備事業¹⁷を推進することで、包括的な支援体制を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	多機関協働事業における支援プランの作成件数(延べ) [所管課調べ]	20件(R6)	56件(R12)

【主な取組】 重層的支援体制整備事業の実施(包括的な相談・支援体制の充実)
複雑化・複合化した福祉課題や、制度の狭間の問題を抱える人や世帯に対して、分野横断的な関係機関の連携による重層的支援会議を開催することで、切れ目のない一体的な支援を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
重層的支援会議の開催	21回/年(R6)	➔ 36回/年(R12)

17 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業



関連するSDGsゴール



多様な福祉ニーズに対応するための包括的な支援体制の充実に取り組みます。

関連ターゲット(1-3)



災害時に脆弱な立場にある人が、地域の支え合いにより避難行動が取れるシステムを拡充していきます。

関連ターゲット(11-5)



地域の支え合い、適切な公助の適用等により虐待による暴力の低下に寄与していきます。

関連ターゲット(16-1、16-2)



民生委員・児童委員や社会福祉協議会、社会福祉活動団体など地域福祉活動の担い手との連携を強化し、ともに生きるまちづくりに取り組みます。

関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第4次富士見市地域福祉計画(令和8年度～令和12年度)

関連部署

子ども未来部 子ども未来応援センター

健康福祉部 福祉政策課、高齢者福祉課、障がい福祉課

教育部 教育相談室

分野5 高齢者福祉

基本政策5 人生100年時代を見据えた健康長寿を目指す

住み慣れた地域で自分らしい自立した在宅生活を送るために、活動的に過ごすことで心身機能の維持・向上に努め、健康長寿を実現する“まち”を目指します。

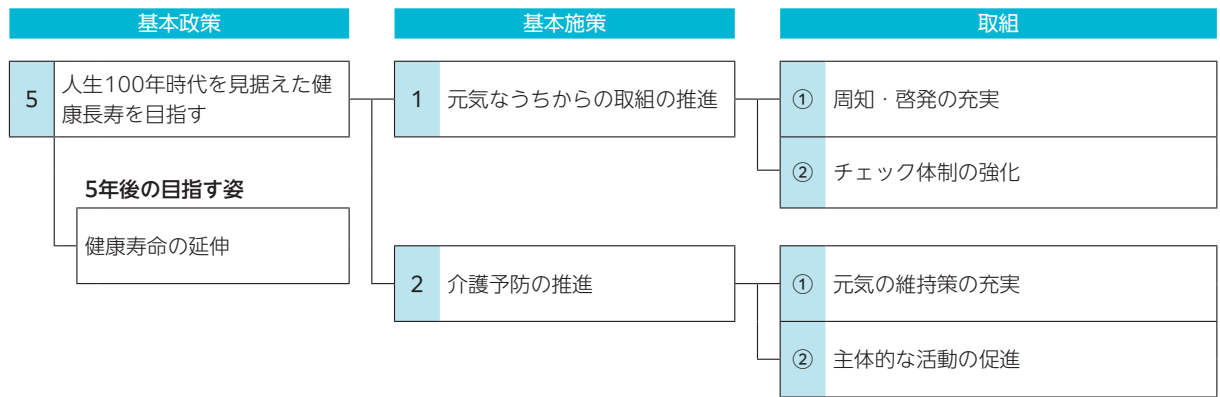
5年後の目指す姿

「健康寿命¹⁸の延伸」

市民が、主体的にフレイル¹⁹の予防や自主的活動に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。

数値目標	現状値	目標値
健康寿命 [埼玉県健康寿命]	男性17.93年 (R5) 女性20.53年	男性19.14年 (R12) 女性21.75年

【ロジックモデル】



18 65歳に達した市民が健康で自立した生活を送ることができる期間

19 加齢により心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態



基本施策

5-1 元気なうちからの取組の推進

市民が自らの健康に関心を持てるよう、身近な場所で気軽にフレイルチェックや健康相談、健康講座を受けられる機会を確保し、フレイル予防の啓発に努めるなど元気なうちからの取組を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	フレイルを知っている割合 [アンケートモニター調査]	39.5%(R6)	50.0%(R12)

【主な取組】 チェック体制の強化

フレイルに関する知識の普及啓発を図り、その兆候に早く気づき、最適な介護予防活動に取り組めるよう、フレイルチェックを強化します。

	【KSF】	現状値	目標値
	フレイルチェック事業参加者数	397人/年(R6)	➔ 460人/年(R12)

5-2 介護予防の推進

市民が、自ら心身機能の維持・向上に努め、介護予防に取り組めるよう、フレイルに関する情報提供や早期発見と正しい対処について周知を図り、自主的活動の担い手の育成を進めるなど介護予防を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	介護予防に資する住民主体の通いの場に参加する高齢者の割合 [介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況調査]	5.0%(R5)	7.0%(R12)

【主な取組】 元気の維持策の充実

個々人の心身機能に合わせ、介護予防を継続できる身近な場所として、ふじみパワーアップ体操クラブ²⁰の増設や活動を支援するなど、元気の維持策の充実に取り組みます。

	【KSF】	現状値	目標値
	パワーアップ体操クラブ数	54クラブ(R6)	➔ 65クラブ(R12)

20 高齢者が運動や認知の力を維持することを目指して本市で考案した体操を行うクラブ

関連するSDGsゴール

3

すべての人に
健康と福祉を

フレイルの予防に取り組むなど、様々な社会資源を活用した元気なうちからの取組を推進し、健康的な生活の継続を目指します。 関連ターゲット(3-8)

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

仲間とともに活動することで、健康づくりへの意欲喚起を図ることができるため、多くの人の参加のもと健康づくりを進めます。 関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第9期富士見市高齢者保健福祉計画(令和6年度～令和8年度)

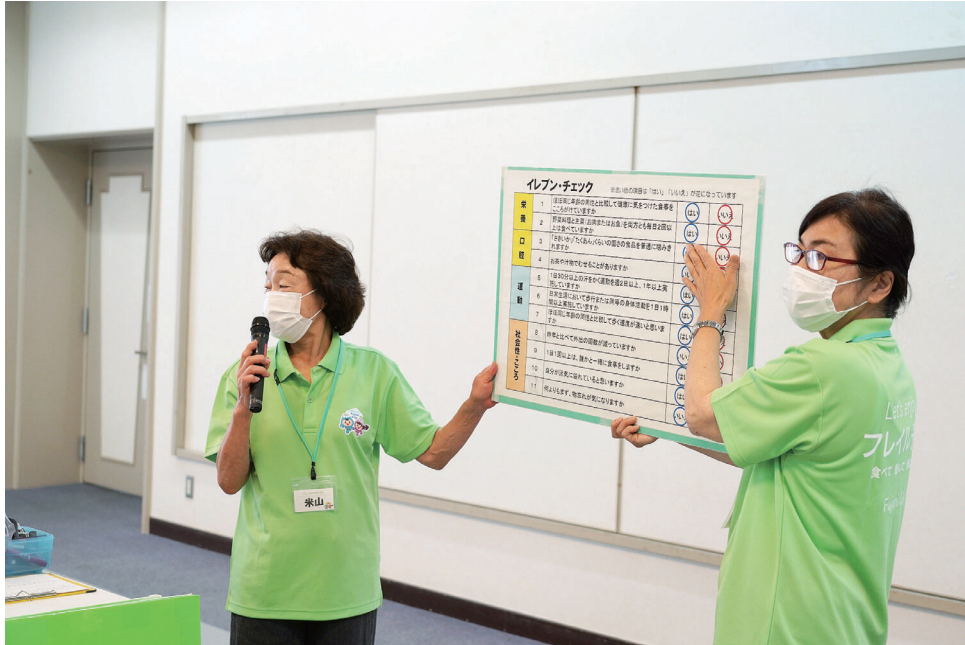
第2期富士見市健康推進計画(令和8年度～令和17年度)

関連部署

市民部 保険年金課

健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター





フレイルチェック



ふじみパワーアップ体操



分野5 高齢者福祉

基本政策6

社会(地域)参加できる

高齢になっても健康を維持し、充実した日々を送るため、社会参加や活動ができる自分の居場所を見つけ、いつまでも地域とつながりを持ち、社会(地域)参加できる“まち”を目指します。

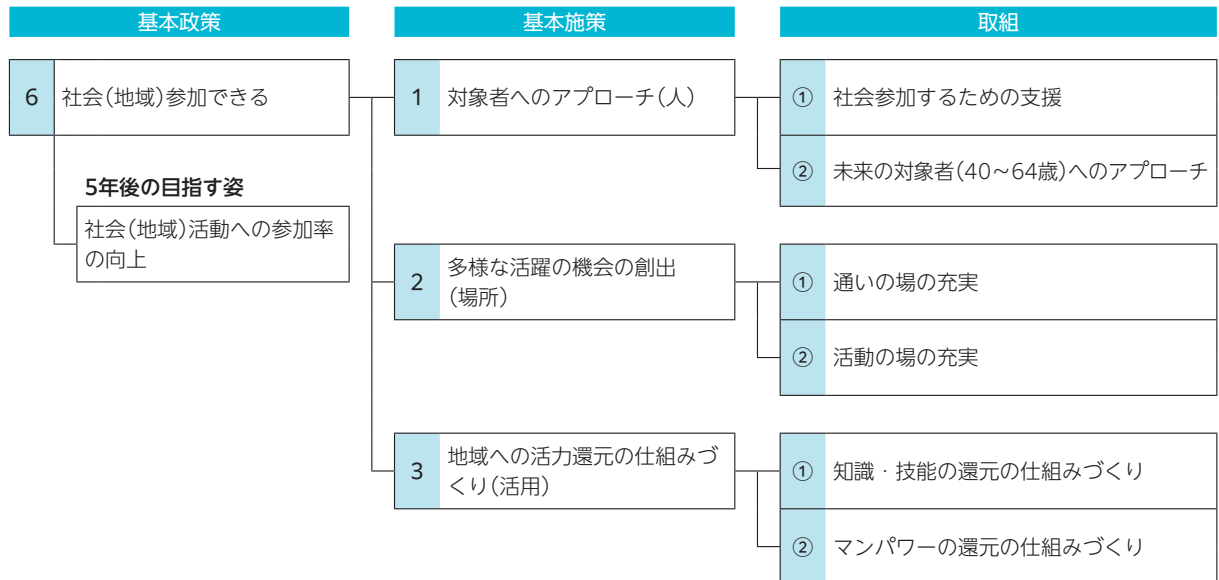
5年後の目指す姿

「社会(地域)活動への参加率の向上」

現在どのような社会(地域)活動があるのかを知るとともに、多様なニーズに合った活躍できる場が、これまで以上に増えることで、社会(地域)活動の参加意欲を醸成します。

数値目標	現状値	目標値
社会(地域)活動への参加率 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	56.6%(R4)	66.6%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

6-1 対象者へのアプローチ(人)

多種多様なニーズを把握し、効果的に各種活動を周知することで、どのような社会(地域)活動があるのかを知ってもらい、移動手段も含め、活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	社会(地域)活動の認知率 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	73.7%(R4)	78.0%(R12)

【主な取組】 社会参加するための支援

高齢者の社会参加を促し、生活に生きがいを見出すための趣味や娯楽活動を行う一方、社会の変化に対応するため様々な学習活動を広げ、社会参加への取り組み等を地域の実情に応じて展開していく活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
高齢者学級の参加者数	493人(R6)	➔ 530人(R12)

6-2 多様な活躍の機会の創出(場所)

多種多様なニーズに対応できる活動・活躍できる場所を拡充していくため、地域や施設などにおいて活動・活躍する機会の創出を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	サービス・活動(地域支援事業)提供団体数 [所管課調べ]	1団体(R6)	3団体(R12)

【主な取組】 活動の場の充実

地域住民団体などの多様な主体が実態に即したサービスを提供することにより元気な高齢者がサービス提供者として参加することで、自身の介護予防・生きがいづくりを目指します。

【KSF】	現状値	目標値
総合事業 ²¹ における活動登録者数	13人(R6)	➔ 39人(R12) (累計)

21 要支援者や事業対象者に対する介護予防・生活支援サービス事業。市の特性を踏まえながら独自の効果的かつ効率的なサービスを提供し、安心して在宅生活ができるよう支援する事業

6-3 地域への活力還元の仕組みづくり(活用)

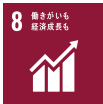
社会参加する方を増やすとともに、社会が高齢者を必要とする環境を整え、これまで培った知識・経験・技能を社会に還元できる仕組みの構築を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域で活躍している高齢者の割合 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	3.7%(R4)	6.5%(R12)

【主な取組】 マンパワーの還元の仕組みづくり
ボランティアやシルバー人材センターの会員登録者数を増やすなど、意欲ある高齢者と地域のニーズを結びつけ、地域社会で活躍する高齢者を増やす取組を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
介護支援ボランティアポイント事業 ²² の登録者数	344人(R6)	→ 410人(R12)

関連するSDGsゴール



社会(地域)活動への参加により、あらゆる人々の活躍を推進し、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。

関連ターゲット(8-5)



様々なパートナーシップを推進し、社会参加に向けて協力することで、活躍の場を増やしていきます。

関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第9期富士見市高齢者保健福祉計画(令和6年度~令和8年度)

関連部署

- 協働推進部 交流センター
- 健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター
- 都市整備部 都市計画課
- 教育部 生涯学習課、公民館

²² 65歳以上の方が登録し、「介護支援ボランティア」として、市が指定する介護保険施設等でボランティアとして活躍する事業



高齢者移動支援



介護のお仕事入門研修



分野5 高齢者福祉

基本政策7

住み慣れた地域での継続した生活の実現

介護や支援が必要になった時にすぐに相談ができ、医療・介護・地域・福祉の連携したサービスなどを利用しながら、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らしていける“まち”を目指します。

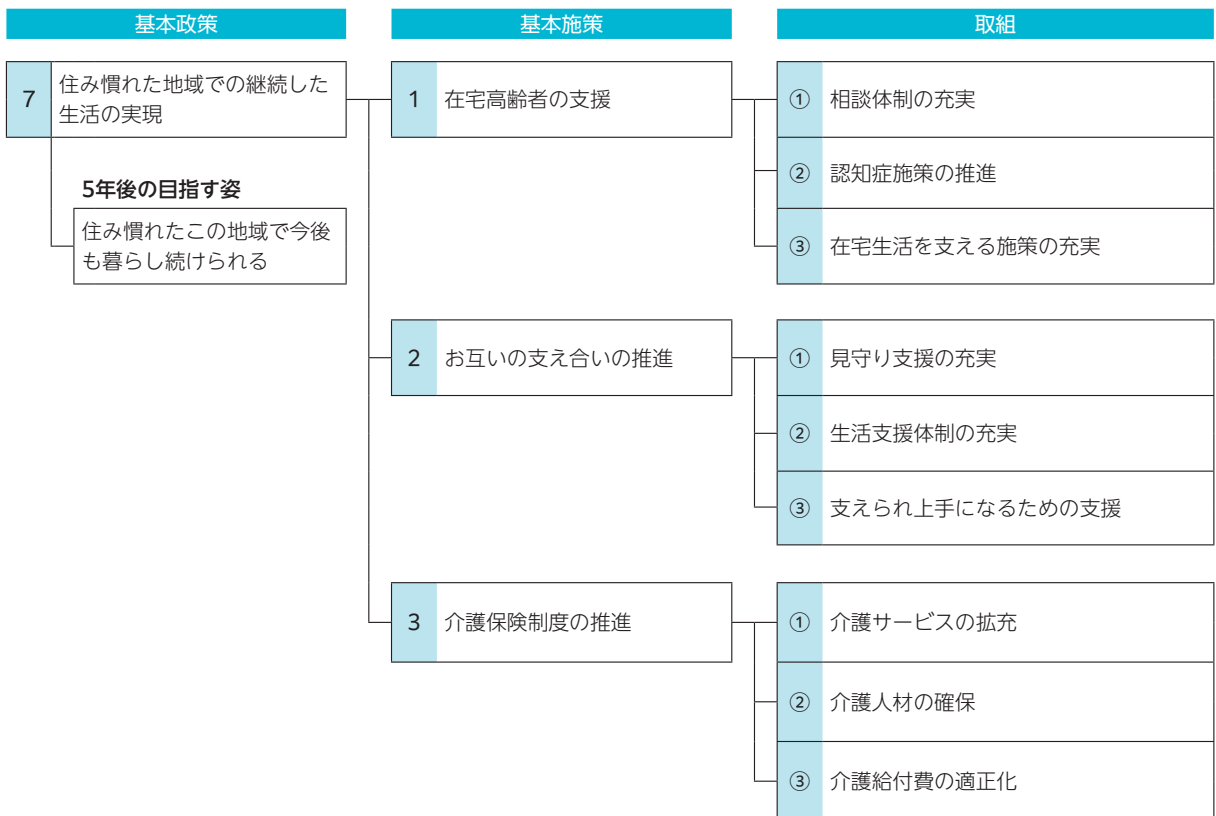
5年後の目指す姿

「住み慣れたこの地域で今後も暮らし続けられる」

介護保険サービスや在宅高齢者施策の活用、地域での支え合い活動など、適切な支援を受けながら安心して生活できる環境を整え、様々な社会資源の活用により、住み慣れた地域で今後も暮らし続けられることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
「住み続けたい」と感じている方の割合(60歳以上) [市民意識調査]	84.9%(R6)	85.5%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

7-1 在宅高齢者の支援

身近な地域で、きめ細やかな相談や支援ができるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター²³）や関係機関を含めた相談体制の強化に努めるなど、高齢者が在宅生活を継続できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	在宅高齢者支援施策に対する満足度 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	24.8%(R4)	34.8%(R12)

【主な取組】 相談体制の充実

在宅高齢者やその家族に対して適切な支援ができるよう、高齢者あんしん相談センターと関係機関の連携を強化します。また、必要な時に速やかに相談につながるよう、相談窓口の周知に努めます。

【KSF】	現状値	目標値
高齢者あんしん相談センターの認知率 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	26.5%(R4)	➔ 50.0%(R12)

7-2 お互いの支え合いの推進

多様な主体による生活支援サービスを拡充し、地域の課題を住民同士で考え、お互いに支え合えるまちづくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	支え合い活動に取り組んでいる人の割合 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]	新規(R7調査予定)	R7調査+5%(R12)

【主な取組】 生活支援体制の充実

生活支援コーディネーター²⁴を中心として、地域における関係機関の連携を強化し、ニーズの把握及び住民主体のサービスの創出やボランティアの育成など、生活支援体制の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
第2層協議体 ²⁵ 数	3団体(R6)	➔ 11団体(R12)

²³ 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が協力して、高齢者やそのご家族、地域の方からの、介護保険の利用や生活支援、介護予防など高齢者に関する様々な相談に対応する機関。高齢者あんしん相談センターは、地域包括支援センターの愛称

²⁴ 地域における支え合いの自主組織の形成を支援する人

²⁵ 地域課題を協議するコミュニティのこと。第1層から第2層まであり、第1層協議体は市全域を対象として組織されている。第2層協議体とは、高齢者あんしん相談センターの日常生活圏域の範囲で組織される。

7-3 介護保険制度の推進

事業所や施設の拡充を進めるとともに、介護人材確保策の強化や介護給付費の適正化の取組を強化し、介護や支援を必要とする方が、必要な時に、適切なサービスを受けられる制度運用を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	介護人材の不足を感じている事業所の割合 [所管課調べ]	87.0%(R6)	73.0%以下(R12)

【主な取組】 介護サービスの拡充

ニーズや供給量などを総合的に判断した上で、地域密着型介護老人福祉施設、通所介護施設などのサービス提供事業所の整備等、介護サービスの拡充を検討します。

【KSF】	現状値	目標値
介護事業所・施設数	64か所(R6)	➔ 74か所(R12)

関連するSDGsゴール



介護保険制度により、すべての市民に対して公平で質の高い介護サービスを提供するように努めます。
関連ターゲット (1-3)



在宅高齢者の支援を強化し、介護者の負担の軽減に努めながら、すべての人々の福祉を推進します。
関連ターゲット (3-8)

関連計画等

第9期富士見市高齢者保健福祉計画(令和6年度～令和8年度)

関連部署

健康福祉部 高齢者福祉課





認知症サポーター養成講座



分野6 障がい福祉

基本政策8

自立した生活を送ることができる

「障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支えあう“まち”ふじみ」を基本理念として、障がいのある人の尊厳と権利が保障され、地域で自立して生活できる“まち”を目指します。

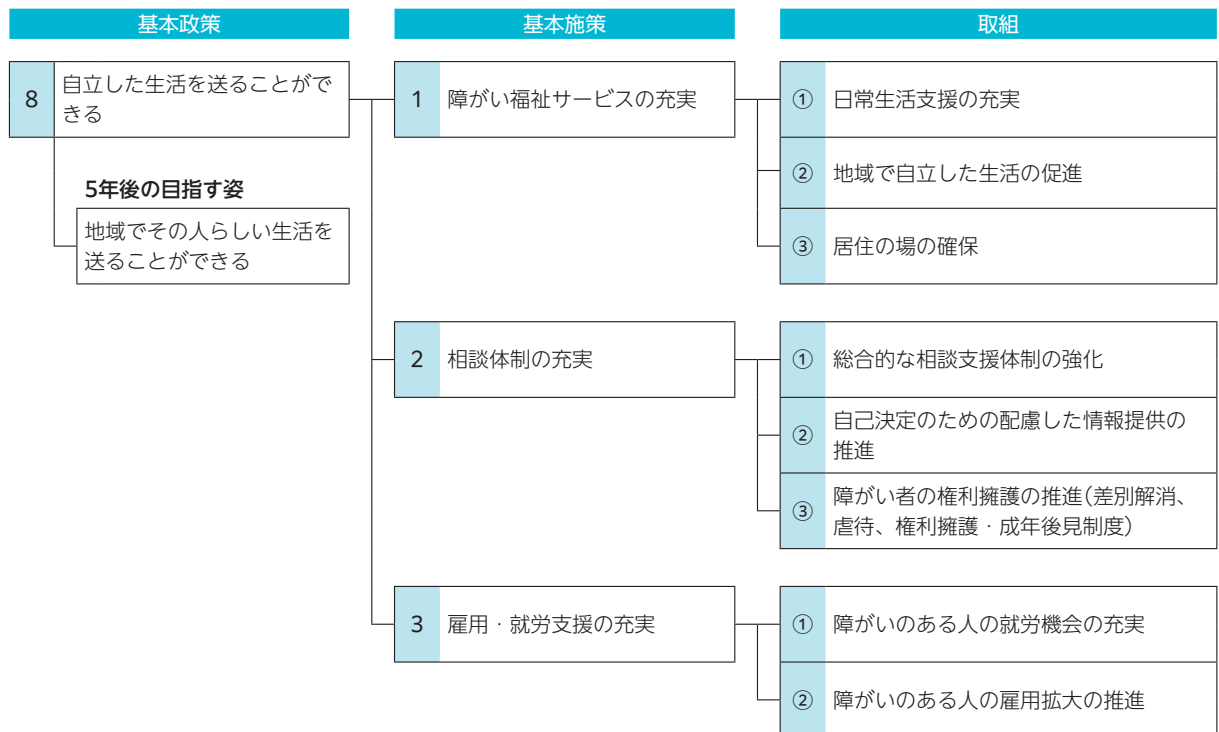
5年後の目指す姿

「地域でその人らしい生活を送ることができる」

障がいのある人が、様々な障がい福祉サービスを利用しながら、自分の持てる力を活かし、その人に合った生活が送れることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
暮らしやすい(「どちらかという」とも含む)人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	37.1%(R5)	44.5%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

8-1 障がい福祉サービスの充実

必要なサービス提供基盤を充実させるなど、支援体制を強化し、障がいのある人が安心して地域で生活できることを目指し、障がい福祉サービスを充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	自宅、グループホームで暮らしたい人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	67.7%(R5)	76.4%(R12)

【主な取組】 日常生活支援の充実

障がいのある人が主体的に必要なサービスを選択できるように、日常生活を支援するための福祉サービスを障がい特性に合わせて、総合的に提供します。

【KSF】	現状値	目標値
障がい福祉サービスで何が利用できるのかわからない人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	31.1%(R5)	➔ 20%以下(R12)

8-2 相談体制の充実

地域で生活する中で、障がいのある人が利用できる支援の情報が得られ、地域で孤立することなく、困ったことが相談できる体制の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	相談に際して不便なことが「特にない」人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	47.5%(R5)	50.2%(R12)

【主な取組】 総合的な相談支援体制の強化

富士見市障害者施策推進協議会²⁶や部会等において、障がいのある人の多様なニーズに対応するため、あらゆる関係機関と情報共有できる場の開催を継続し、連携を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会の開催数	3回/年(R6)	➔ 3回以上/年(R12)

26 障がいのある人について、地域の実情に応じた支援体制の整備を協議する附属機関

8-3 雇用・就労支援の充実

障がい特性やその人の能力に応じた仕事に就き、継続して仕事が続けられるよう、支援するとともに、雇用の拡大を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	就労支援センター登録者の一般就労と福祉的就労 ²⁷ 者数 [所管課調べ]	247人(R6)	423人(R12)

【主な取組】 障がいのある人の就労機会の充実

一般就労や就労定着のための支援、また一般就労が困難な人には福祉的就労の充実を図るため、障がい者の就労機会を支える関係機関との連携を密にし、障がい特性やニーズに合わせた支援を実施します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会(就労チーム)の開催数	3回/年(R6)	➔ 3回以上/年(R12)

関連するSDGsゴール



障がいのある人が、生産的な雇用や働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)につながる取組を促進します。 **関連ターゲット(8-5)**



障がい、その他の状況を理由とした、社会的、経済的不平等を是正します。 **関連ターゲット(10-2)**

関連計画等

第6期富士見市障がい者支援計画(令和6年度～令和8年度)

関連部署

健康福祉部 障がい福祉課

²⁷ 就労支援施設などで福祉サービスを受けながら働く働き方のこと





障がい者支援施設(畑)



分野6 障がい福祉

基本政策9

ともに生き、ともに支えあう

障がいに対し、市民一人ひとりが理解を深めるとともに、障がいのある人が、その人らしく住み慣れた地域で暮らせる環境づくりを進めることで、障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支え合う「共生社会の実現」を目指します。

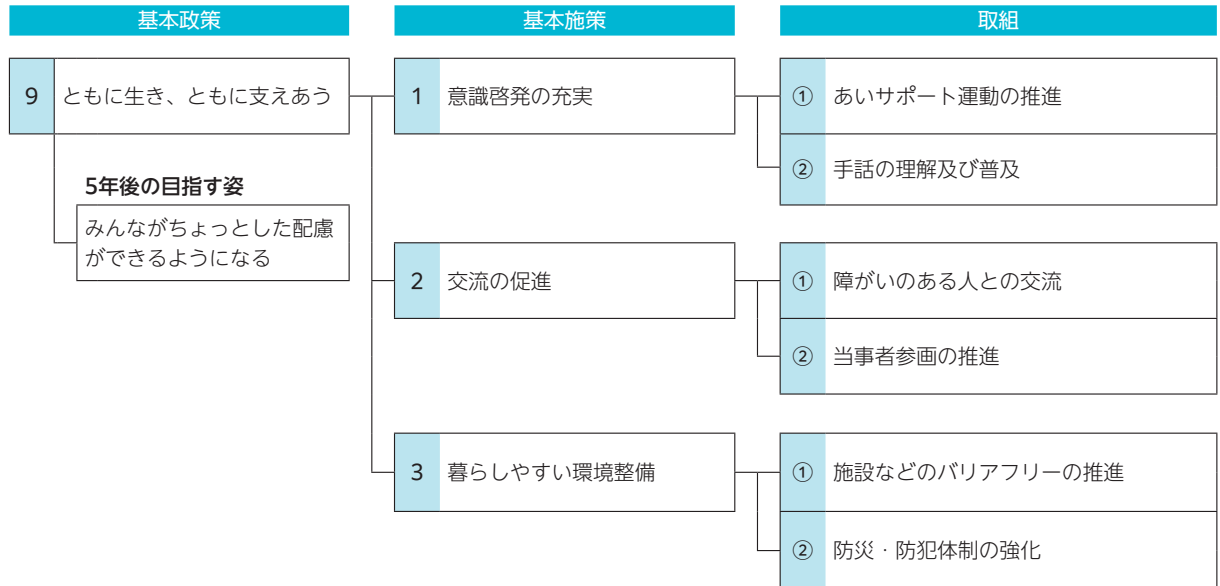
5年後の目指す姿

「みんながちょっとした配慮ができるようになる」

共生社会の実現に向けて、市民一人ひとりが、障害者差別解消法²⁸の趣旨を理解し、障がいのある人へ必要な配慮ができることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
障害者手帳所持者等のうち配慮がなく困った経験がある人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	23.9%(R5)	17.3%以下(R12)

【ロジックモデル】



28 障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月から施行された法律

基本施策

9-1 意識啓発の充実

家庭、地域、学校、企業などにおいて、偏見や差別を解消するため、障がいに対する正しい知識と理解を広める情報提供を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	あいサポート運動を知っている人の割合 [アンケートモニター調査]	20.6%(R7)	50.0%(R12)

【主な取組】 あいサポート運動²⁹の推進

障がいのある人が、地域の中で自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指して、障がいに対する正しい知識を持ち、ちょっとした配慮ができる「あいサポーター」を養成します。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポーター数	11,473人(R6)	➔ 13,000人(R12)

9-2 交流の促進

各種活動に積極的に参加する意欲を高めるとともに、障がいのある人とない人とが交流機会を増やすなど、心のバリアを解消する交流を促進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	障がいのある人と交流(啓発イベントやボランティアに参加)したことがある人の割合 [アンケートモニター調査]	51.7%(R6)	61.3%(R12)

【主な取組】 障がいのある人との交流

広く、障がいのある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために、障がいのある人との交流事業等を実施していきます。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポートイベントの開催	1回/年(R6)	➔ 継続(R12)

29 障がいの有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい地域社会をみんなでつくっていかうとする運動

9-3 暮らしやすい環境整備

障がいのある人もない人も、すべての人々にとっての暮らしやすさにつながるよう、誰もが暮らしやすい環境整備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	市のサービスの情報を得られている人の割合 [障がい福祉についての実態調査]	31.3% (R5)	45.0% (R12)

【主な取組】 防災・防犯体制の強化
障がいのある人が地域で安心して生活できるよう、日ごろから地域団体などとの連携を図り、防災・防犯対策を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
災害時に助けてくれる人がいない [障がい福祉についての実態調査]	37.1% (R5)	➔ 20%以下 (R12)

関連するSDGsゴール



障がいなどを理由とした差別を解消し、その人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会を目指します。
関連ターゲット (10-2)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識を共有し、ともに生きる社会の構築に向け協力していきます。
関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第6期富士見市障がい者支援計画 (令和6年度～令和8年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課
健康福祉部 福祉政策課、障がい福祉課
教育部 学校教育課



手話の絵本読み聞かせ



あいサポートイベント



分野7 健康づくり

基本政策10 心身ともに健康な状態で過ごすことができる

健康づくりの柱と捉えている食生活・運動・健康管理・こころ・口腔について、人生100年時代を見据え、ライフステージに応じた支援の充実を図り、望ましい生活習慣の定着を促すことで、健康づくりを推進し、市民が心身ともに健康な状態で過ごせる“まち”を目指します。

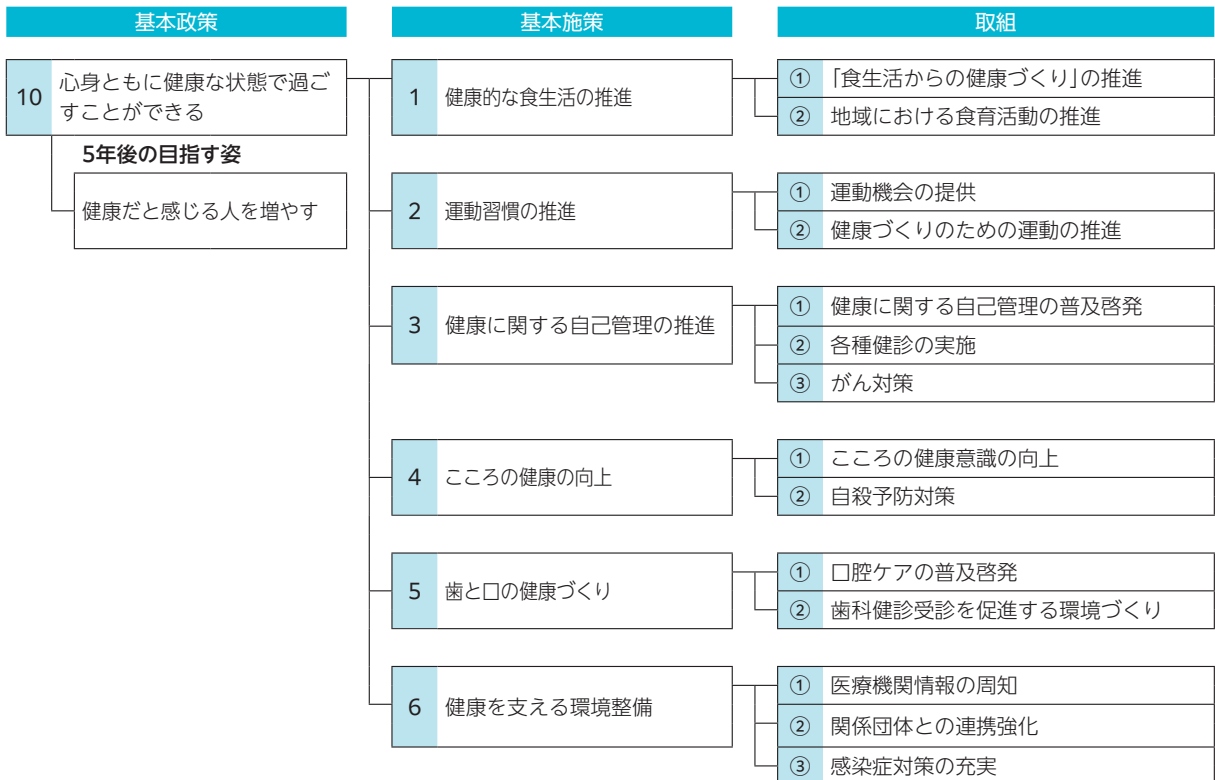
5年後の目指す姿

「健康だと感じる人を増やす」

市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組み、自ら健康だと感じる人を増やします。

数値目標	現状値	目標値
健康だと感じる人の割合 [市民意識調査]	77.8%(R6)	85.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

10-1 健康的な食生活の推進

食育や望ましい食習慣についての普及啓発を行い、栄養バランスのとれた健康的な食生活を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	バランスのよい食生活をしている人の割合 [アンケートモニター調査]	59.1%(R6)	70.0%(R12)

【主な取組】 地域における食育活動の推進

地域団体と協働し、身近な場所で健康的な食生活についての普及啓発を進めるなど、地域における食育活動の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
地域における食育活動の支援回数	87回/年(R6)	➔ 100回/年(R12)

10-2 運動習慣の推進

自分の健康状態や体力に応じた運動・身体活動に取り組めるよう、運動習慣づくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	運動習慣がある人の割合 [アンケートモニター調査]	46.2%(R6)	55.0%(R12)

【主な取組】 運動機会の提供

運動習慣のない人が運動をはじめ、また、運動を継続できるよう、ALKOOマイレージ³⁰を広く周知するなど、楽しく運動する機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
ALKOOマイレージの参加者数	1,760人(R7)	➔ 2,260人(R12)

30 歩数計の機能等をもつウォーキングアプリで手軽に健康づくりが実践できる事業

10-3 健康に関する自己管理の推進

定期的に健(検)診を受けることができる環境を整え、自らの健康管理ができるようになることを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	定期的に健診を受けている人の割合 [アンケートモニター調査]	73.2%(R7)	75.9%(R12)

【主な取組】 健康に関する自己管理の普及啓発

健康のための自己管理を行うことができるよう、健康教育や健康相談等の様々な場面において普及啓発に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
健康教育・健康相談の実施	93回(R6)	➔ 100回(R12)

10-4 こころの健康の向上

様々なこころの健康問題について、正しい知識を得て、適切に相談や受診ができるよう、こころの健康に関する普及啓発や情報提供に努め、こころの健康の向上を目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	相談できる人や場所がない人の割合 [アンケートモニター調査]	38.2%(R6)	34.4%以下(R12)

【主な取組】 自殺予防対策

自殺は、その多くが、様々な社会的要因によって心理的に追い込まれた末の死であることから、地域において、ゲートキーパー³¹の育成や相談のできる居場所づくりの環境整備など、自殺予防対策に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
ゲートキーパー養成講座受講者数	653人(R6)	➔ 923人(R12)

31 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人

10-5 歯と口の健康づくり

多くの市民が、歯と口の健康づくりについての知識を身につけ、自ら正しい口腔ケアを実践できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	何でも嚙んで食べることができる人の割合 [アンケートモニター調査]	88.4%(R6)	90.0%(R12)

【主な取組】 口腔ケアの普及啓発 口腔ケアについて、関係機関との連携、協働により歯科口腔保健の知識の普及に取り組みます。		
【KSF】	現状値	目標値
歯科口腔教室の実施回数	48回/年(R6) →	54回/年(R12)

10-6 健康を支える環境整備

医師会や町会等の関係団体との連携を強化し、健康に関する情報の提供に努め、地域で健康を支える環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域の医療機関を知っている人の割合 [アンケートモニター調査]	89.1%(R7)	90.2%(R12)

【主な取組】 医療機関情報の周知 ホームページ等を活用し、医療情報へアクセスしやすい環境を整えるとともに、講座等を通じて医療機関に関する情報を積極的に提供します。		
【KSF】	現状値	目標値
パンフレットの配布による医療機関情報の提供（事業等での配布枚数）	3,200枚(R6) →	4,500枚(R12)



関連するSDGsゴール

3

すべての人に
健康と福祉を

すべての人々が健康的な生活を送れるように、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。

関連ターゲット(3-4、3-5、3-8、3-a、3-d)

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

様々な地域資源とともに、効果的な事業を展開します。

関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第2期富士見市健康推進計画(令和8年度～令和17年度)

関連部署

市民部 保険年金課

子ども未来部 保育課

健康福祉部 福祉政策課、障がい福祉課、健康増進センター

教育部 学校給食センター





健康づくり料理講習会



分野8 スポーツ

基本政策11

スポーツで元気になる

子どもから高齢者、障がいのある人など、誰もが生き生きとした日常生活を送るために、体力や技術、興味、目的に応じたスポーツを通じ、元気になることができる“まち”を目指します。

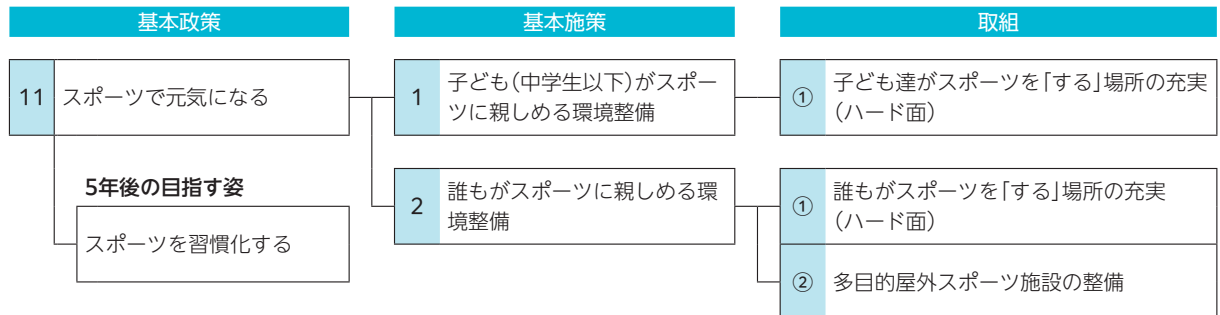
5年後の目指す姿

「スポーツを習慣化する」

多くの市民が心身ともに元気に暮らせるよう、スポーツを身近に親しめる環境の整備を通じて、スポーツの習慣化を支援します。

数値目標	現状値	目標値
週1回以上スポーツをする人の割合 [市民意識調査]	34.2%(R6)	43.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

11-1 子ども(中学生以下)がスポーツに親しめる環境整備

幼児などが「遊び」も含め様々なかたちで体を動かしたり、小・中学生がスポーツの魅力や楽しさ・大切さを知り、スポーツに親しんだりすることができる環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	運動が好き・やや好きな割合 [全国体力・運動能力・運動習慣等調査]	84.0%(R6)	86.0%(R12)

【主な取組】 子ども達がスポーツを「する」場所の充実(ハード面)
スポーツをする環境を充実させるとともに、情報提供も積極的に行うことで、好きな時に好きなスポーツを、気軽に楽しめる環境整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館・運動公園の子ども登録団体数	231団体/年 (R6)	240団体/年 (R12)

11-2 誰もがスポーツに親しめる環境整備

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の中で気軽にスポーツ活動に取り組める環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツ施設利用者数 [所管課調べ]	343,468人(R5)	358,000人(R12)

【主な取組】 誰もがスポーツを「する」場所の充実(ハード面)
誰もが好きな時に好きなスポーツを楽しめるよう、既存のスポーツ施設の環境整備に加え、新たに上南畑地区産業団地内においてアーバンスポーツ³²施設の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館・運動公園登録団体数	504団体/年 (R6)	510団体/年 (R12)

32 都市の空間や構造物を活用して行うスケートボードやBMX、ダンスなど、若者を中心に人気を集める新たなスポーツの形態



関連するSDGsゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上での基盤づくりとして、スポーツを通じた健康づくりに取り組みます。

関連ターゲット(4-2、4-3)

関連計画等

第2期富士見市スポーツ推進計画(令和4年度～令和8年度)

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

第4次富士見市生涯学習推進基本計画(令和8年度～令和12年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

健康福祉部 健康増進センター

都市整備部 都市計画課、まちづくり推進課

教育部 生涯学習課



市民総合体育館スポーツジム



分野8 スポーツ

基本政策12

スポーツにより交流が活性化する

地域のあらゆるスポーツ活動を通して、市民の交流が活性化していく“まち”を目指します。

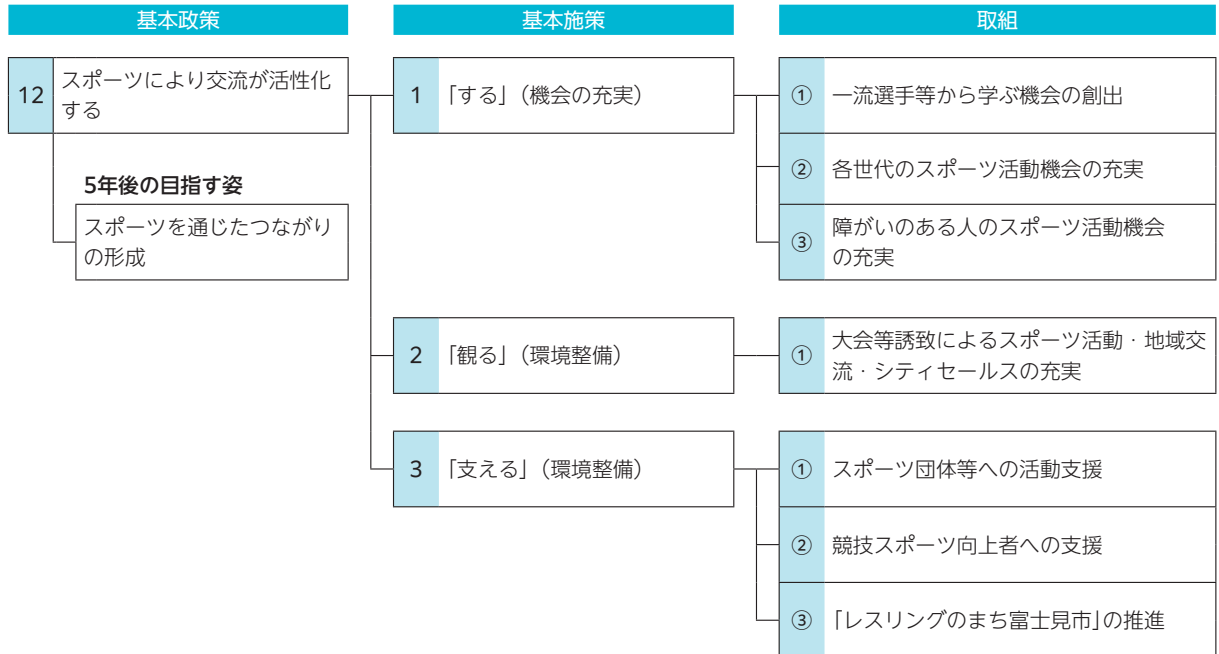
5年後の目指す姿

「スポーツを通じたつながりの形成」

多くの市民が、「する」、「観る」、「支える」など様々なかたちでスポーツに関わることで、市民同士の交流が深まることを目指します。

数値目標	現状値	目標値
スポーツ活動への参加率 [市民意識調査]	30.9%(R6)	40.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

12-1 「する」(機会の充実)

市民が様々なスポーツ活動に参加し、交流を深めることができるよう、「する」機会の充実に図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツ大会・スポーツイベントへの参加率 [アンケートモニター調査]	24.3%(R7)	26.7%(R12)

【主な取組】 一流選手等から学ぶ機会の創出
スポーツの魅力を伝え、心身の成長につなげることを目指し、楽しめる体験事業など、スポーツ機会の充実に取り組めます。

【KSF】	現状値	目標値
一流選手等から学ぶ体験教室の開催数	14回/年 (R6)	15回/年 (R12)

12-2 「観る」(環境整備)

トップリーグによるスポーツ大会の観戦などを通じて、市民の交流の深まりや、シティセールスの充実に目指して、「観る」環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツを会場等で観戦したことがある市民の割合 [アンケートモニター調査]	33.9%(R6)	41.0%(R12)

【主な取組】 大会等誘致によるスポーツ活動・地域交流・シティセールスの充実
レスリング、ハンドボール、セパタクローなどの全国規模の大会の誘致を通し、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ活動、地域交流、シティセールスの充実に図ります。

【KSF】	現状値	目標値
大会誘致競技数	5競技/年 (R6)	6競技以上/年 (R12)



12-3 「支える」(環境整備)

地域スポーツ団体等への活動支援、富士見TOPサポーター2020+³³の派遣などを通じて、誰もが交流を深めることができるよう、「支える」環境整備を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	スポーツに関するボランティア活動の参加率 [アンケートモニター調査]	17.4%(R6)	23.0%(R12)

【主な取組】 スポーツ団体等への活動支援

スポーツ団体による普及活動や大会、イベントなど、市民による地域スポーツ活動を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
イベント、大会等に派遣された富士見TOPサポーター2020+の人数	延べ32人/年 (R6)	延べ40人/年 (R12)

関連するSDGsゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上の基盤づくりとして、スポーツを通じたつながりの醸成に取り組めます。

関連ターゲット(4-2、4-3)



経験や知識、技術を共有しながら多様なスポーツ機会を提供し、様々なパートナーシップを推進するとともに、スポーツを通じたつながりの形成に取り組めます。

関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第2期富士見市スポーツ推進計画(令和4年度～令和8年度)

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

第4次富士見市生涯学習推進基本計画(令和8年度～令和12年度)

33 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を支える富士見市の一員として発足したボランティア団体。市主催の事業やキラリ☆ふじみ・市民総合体育館の指定管理者主催の事業において、会場設営や来場者の案内等のイベント補助をはじめ、応急手当やその他PR活動等で活動していただいている。



関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課
都市整備部 都市計画課
教育部 生涯学習課、学校教育課



ふじみヘルシーウォーク大会



分野9 文化芸術・文化財

基本政策13

心豊かな生活を送ることができる

市民とともに培ってきた文化芸術の土壌を活かし、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に触れられる機会の創出により、市民一人ひとりが、心豊かな生活を実感できる“まち”を目指します。

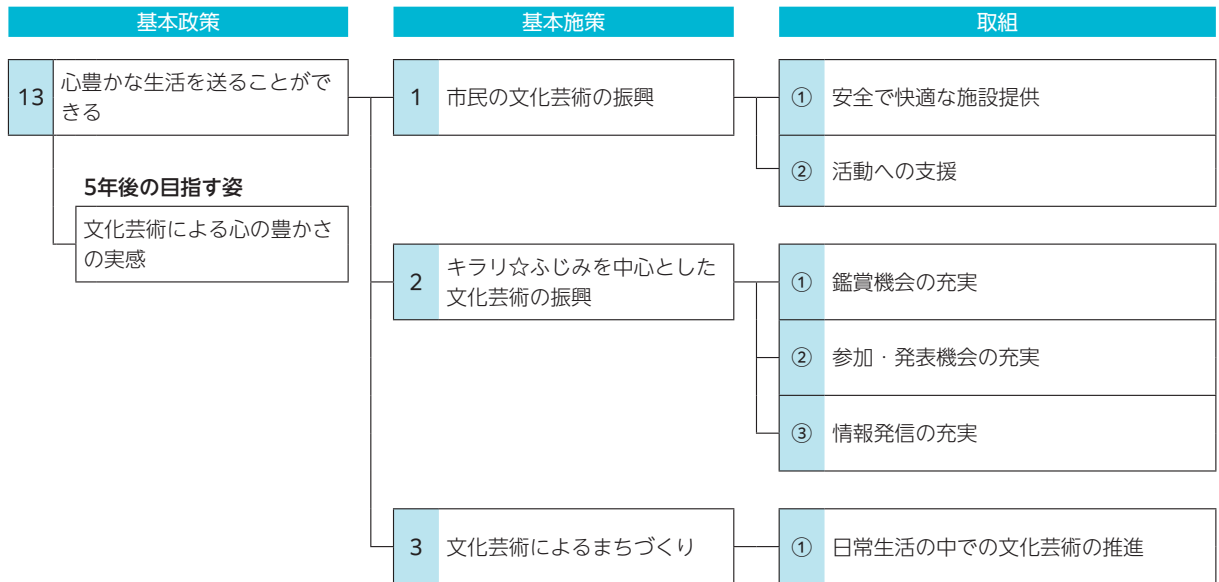
5年後の目指す姿

「文化芸術による心の豊かさの実感」

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に親しむことができるように、活動環境や鑑賞機会を充実させるとともに、わかりやすい情報発信に努め、文化芸

数値目標	現状値	目標値
「市民文化の創造」に対する満足度 [市民意識調査]	61.6%(R6)	70.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

13-1 市民の文化芸術の振興

安全で快適な施設の提供や活動に対する様々な支援を行うことにより、市民が文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進め、市民の文化芸術振興を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術活動環境に対する満足度 [アンケートモニター調査]	48.3%(R6)	60.0%(R12)

【主な取組】 安全で快適な施設提供

誰もが安全で安心して利用できる快適な活動環境を提供するため、ユニバーサルデザインにも配慮し、公共施設マネジメント³⁴の個別施設計画と連動した計画的な施設の修繕・改修を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
個別施設計画に基づく施設の修繕・改修の実施	計画に基づく施設整備の実施 (R6)	計画に基づく施設整備の継続 (R12)

13-2 キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術の振興

文化芸術の発信拠点であるキラリ☆ふじみを中心として、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に接することや、参加することのできる環境づくりに取り組むことで文化芸術を振興します。

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術事業に対する満足度 [アンケートモニター調査]	44.7%(R6)	60.0%(R12)

【主な取組】 鑑賞機会の充実

日頃から文化芸術に親しむ人だけでなく、仕事や子育てなどに追われ、文化芸術に触れる機会の少ない人や障がいのある人、外国籍の人にも、キラリ☆ふじみを中心とした身近な公共施設で文化芸術に親しめる機会を創出します。

【KSF】	現状値	目標値
鑑賞会等の参加者数	31,506人/年 (R6)	32,000人/年 (R12)

³⁴ 安全で安心な公共施設機能の提供と安定した財政運営を両立するため、市が保有する全ての公共施設について、総合的かつ統括的に、企画、管理及び利活用を進め、経費の削減や平準化を行うもの



13-3 文化芸術によるまちづくり

あらゆる地域資源の活用等により、日常生活の中で文化芸術に親しむことができる機会を充実し、文化芸術によるまちづくりを推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	「豊かな生活が送れている」と回答した割合 [アンケートモニター調査]	57.7%(R6)	60.0% (R12)

【主な取組】 日常生活の中での文化芸術の推進

身近な場所を活用したコンサートの実施やまちなかを活用したアート空間の創出など、日常生活の中での文化芸術を推進します。

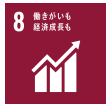
【KSF】	現状値	目標値
文化芸術実施状況調査 ³⁵ 回答事業数	66事業(R6)	➔ 70事業(R12)

関連するSDGsゴール



誰もが文化芸術を、観て、触れて、体験できる環境の提供に取り組めます。

関連ターゲット(4-7、4-a)



日常生活の中で文化芸術に親しめる機会を創出し、地域の文化振興に取り組めます。

関連ターゲット(8-9)



文化芸術を通じた社会的包摂による、誰一人取り残さないまちづくりに取り組めます。

関連ターゲット(11-3)

関連計画等

第2次富士見市文化芸術振興基本計画(令和6年度~令和13年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター
教育部 公民館

35 第2次富士見市文化芸術振興基本計画に基づき、毎年度実施する取組をまとめたもの





子ども文化芸術大学☆ふじみ(バイオリン)



地域コンサート(出演:Masaki.と音楽ピクニック楽団)



分野9 文化芸術・文化財

基本政策 14

地域の歴史や伝統文化を通して地域に魅力を感じる

地域独自の歴史や伝統文化を学ぶ、体験する機会を通して、郷土に魅力を感じ、愛着と誇りを抱ける“まち”を目指します。

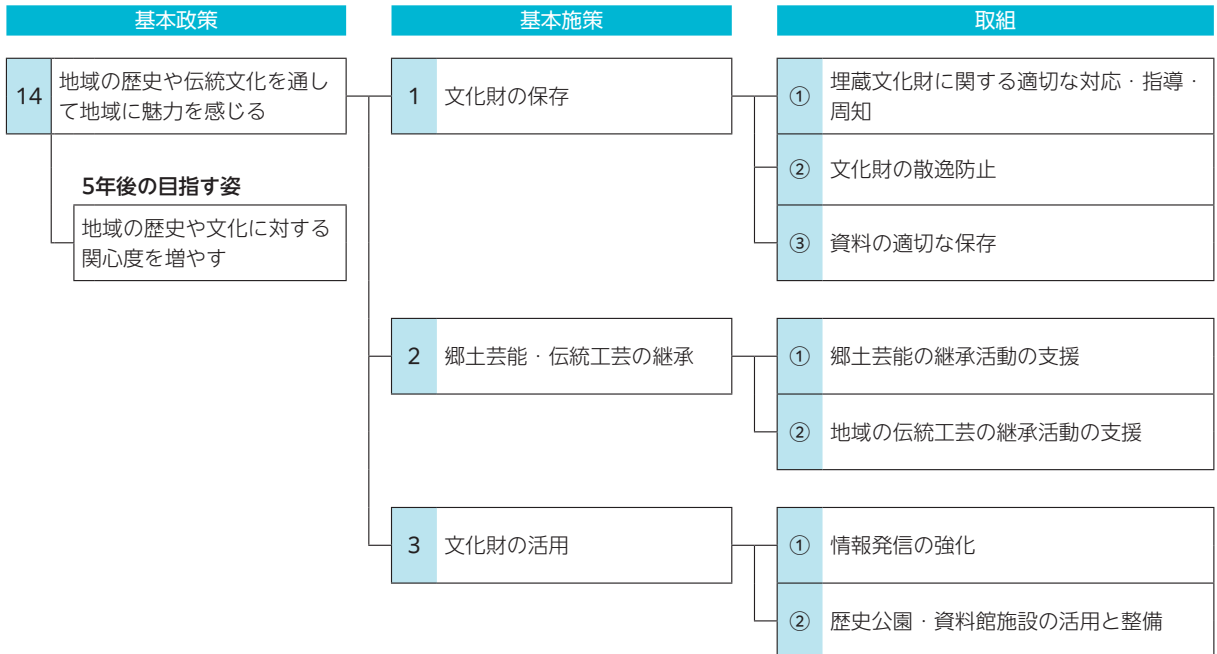
5年後の目指す姿

「地域の歴史や文化に対する関心度を増やす」

地域の歴史、文化の継承を支えるため、市民が率先して学習や体験の場に参加するなど、魅力ある資源として、自分たちのまちの歴史や郷土芸能に関心を持つことを目指します。

数値目標	現状値	目標値
「富士見市で魅力ある資源」のうち、歴史・史跡等を選択した割合 [市民意識調査]	8.6%(R6)	18.6%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

14-1 文化財の保存

市内に所在する歴史資源、文化資源、発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保存し、各種文化財を良好な状態で後世に残していくことを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	市指定文化財の総件数 [所管課調べ]	36件(R6)	38件(R12)

【主な取組】 資料の適切な保存

文化財資料を後世に残していくことを目指し、適切な保存と活用をしていきます。

【KSF】	現状値	目標値
保存処理 ³⁶ 件数	7件(R6) →	12件(R12)

14-2 郷土芸能・伝統工芸の継承

市民と協力し、後継者の育成や支援をしていくことで、地域で守り継がれてきた郷土芸能や伝統工芸が途絶えることのないよう継承していくことを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	郷土芸能や伝統工芸に関する活動を継続して行っている団体数 [所管課調べ]	11団体(R6)	維持(R12)

【主な取組】 郷土芸能の継承活動の支援

郷土芸能や保存団体の活動を情報発信するなど、地域の郷土芸能の継承活動を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
市指定文化財の郷土芸能保存団体の活動件数	67件(R5) →	維持(R12)

36 金属器や脆弱な土器資料等の錆進行防止・強化復元など

14-3 文化財の活用

市民が郷土の歴史、文化をまちの魅力と感じられるように、文化財の活用事業を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	資料館来館者数 [水子貝塚資料館・難波田城資料館]	89,808人/年(R6)	110,000人/年(R12)

【主な取組】 歴史公園・資料館施設の活用と整備

地域資源として積極的に活用することを目的に水子貝塚公園の再整備を行うとともに、地域の歴史、文化の特徴を踏まえ、歴史公園や資料館を活かした体験イベントや事業を市民との協働により行います。

【KSF】	現状値	目標値
主催・共催事業実施数	280回 (R1~R5)	300回 (R8~R12)

関連するSDGsゴール



市民に、文化財を通して、質の高い知識を習得する機会を提供します。

関連ターゲット(4-7)



地域の歴史・文化を保存・継承・活用し、文化遺産の保護・保全への意識を高めていきます。

関連ターゲット(11-4)

関連計画等

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度~令和9年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

教育部 生涯学習課、資料館



鶴馬諏訪神社獅子舞(市指定無形民俗文化財)



氷川前遺跡出土銅碗(市指定有形文化財)

分野10 生涯学習

基本政策15

自由な学びにより生きがいができる

心豊かに暮らせるまちづくりの実現のため、市民一人ひとりが自由に学び、生きがいを実感できる“まち”を目指します。

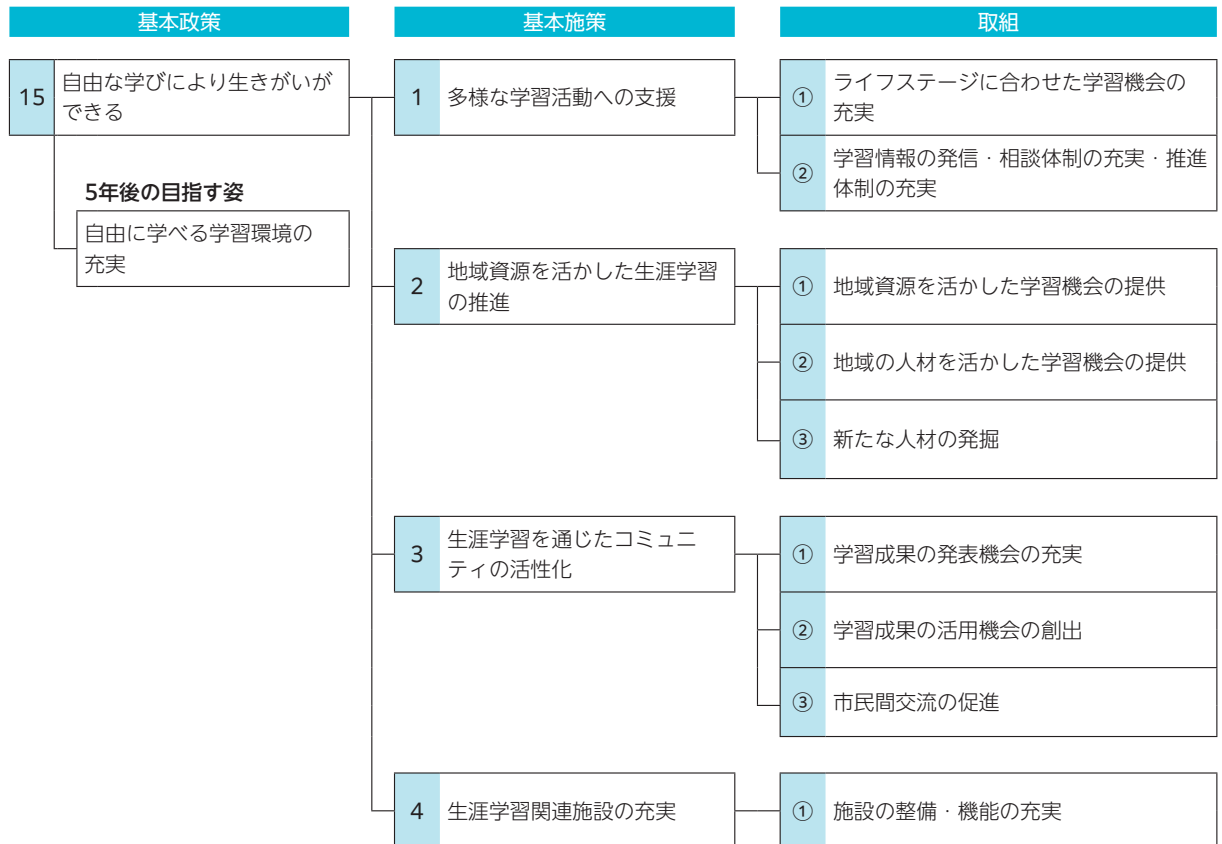
5年後の目指す姿

「自由に学べる学習環境の充実」

市民一人ひとりの様々な学びの意欲に応じることにより、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習環境の充実を目指します。

数値目標	現状値	目標値
自由に学べる学習環境に対する満足度 [市民意識調査]	46.7%(R6)	50.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

15-1 多様な学習活動への支援

ライフステージに応じた学習機会の提供や、学習情報の発信、相談体制の整備などにより、多様な学習活動に取り組めるよう支援します。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を行っていると感じた人の割合 [アンケートモニター調査]	37.6%(R7)	48.0%(R12)

【主な取組】 ライフステージに合わせた学習機会の充実

既存の事業に加えてデジタル技術を活用した事業開催など、ライフステージのニーズに合わせた学習機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
自分のライフステージに合った事業が行われていると感じる人の割合 [アンケートモニター調査]	26.9%(R6)	➔ 35.0%(R12)

15-2 地域資源を活かした生涯学習の推進

自然環境、産業、歴史、郷土芸能などの地域資源や、知識や経験を持つ多彩な市民を活かした生涯学習を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域資源を活かした講座の参加者数 [所管課調べ]	5,344人(R5)	6,700人(R12)

【主な取組】 地域資源を活かした学習機会の提供

水子貝塚などの各種遺跡、獅子舞やお囃子などの郷土芸能、本市が持つ多彩な地域資源を活用し次世代にもつなげる学習機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
資料館等で実施する地域資源を活かした特色のある事業数	17事業(R6)	➔ 20事業(R12)



15-3 生涯学習を通じたコミュニティの活性化

生涯学習における学習成果の発表や学び合い、多世代にわたる市民同士の交流の機会などを通じて人と人とのつながりを増やします。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を通じて、人と人とのつながりが増えたと回答した人の割合 [アンケートモニター調査]	30.4%(R7)	39.0%(R12)

【主な取組】 市民間交流の促進

地域にかかわる新たな市民を増やすため、市民同士が交流できる仕組みを創出します。

【KSF】	現状値	目標値
市民間交流を目的とした新たな事業・イベントの実施回数	—	6回 (R8~12の累計)

15-4 生涯学習関連施設の充実

多様化する学習形態への対応と、誰もが安全で使いやすいユニバーサルデザインに配慮した、生涯学習関連施設の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を行う施設環境に対する満足度 [アンケートモニター調査]	49.3%(R6)	65.0%(R12)

【主な取組】 施設の整備・機能の充実

多様化する学習活動を支援するため、公民館や交流センター、図書館などの機能の充実と計画的な施設整備に取り組み、DX推進のための設備導入や活用を進めていきます。

【KSF】	現状値	目標値
各公民館・交流センター・コミュニティセンター・ピアザ☆ふじみ・図書館の利用者数	518,925人/年 (R6)	585,000人/年 (R12)



関連するSDGsゴール



市民が平等かつ公正に学ぶ機会を保障し、学びが生きがいづくりと心豊かに暮らせるまちづくりにつながるよう取り組みます。

関連ターゲット(4-2、4-3、4-5、4-7)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、生涯学習機会や支援等の充実に向け、協力していきます。

関連ターゲット(17-17)

関連計画等

第3次富士見市教育振興基本計画(令和5年度～令和9年度)

第4次富士見市生涯学習推進基本計画(令和8年度～令和12年度)

関連部署

協働推進部 協働推進課、文化・スポーツ振興課、人権・市民相談課、交流センター、ピアザふじみ、コミュニティセンター

子ども未来部 保育課、子ども未来応援センター

健康福祉部 福祉政策課、高齢者福祉課、健康増進センター

経済環境部 環境課

教育部 生涯学習課、公民館、資料館